

吉備中央町デジタル田園都市構想総合戦略の効果検証シート（令和6年度）

基本目標 1 吉備中央町に仕事をつくる

評価の基準

◎：現状値が目標値を達成している

○：目標値に達していないものの、基準値に対し上昇している

△：目標値に達していないものの、基準値に対し横ばいである（変動率±5%の範囲内）

×：目標値に達しておらず、基準値に対し低下している

—：事業の実施前段階により評価不能

基本目標	指標	基準値（R5）	現状値（R6）	目標値（R10）
	就業者数	5,563人 (R2国勢調査)	—	6,300人

施策名	重要業績評価指数（KPI）	基準値（R5）	現状値（R6）	目標値（R10）	基準値に対する現状値の評価 （目標値に達している場合は目標値に対する評価）	
						状況確認・要因分析等
企業誘致の促進	町内コワーキングスペースへの入居 企業数	－	3件/年	2件/年	◎	吉備高原都市内にNスクエアが設立されたことに伴 い入居企業数が増加した。
スタートアップ支援による 移住定住促進						
起業家の育成	創業した数	3件/年	0件/年	7件/年	×	年によって創業数にばらつきがある。町と協定を締 結している岡山大学等と連携した取組を模索してい る。
大学を核としたイノベー ションの創出						
新規就農者育成	新規就農者の数	5人/年	5人/年	25人/5年	◎	農業公社における研修事業が定着しているため、安 定的な新規就農者数に繋がっている。
就労支援	企業ガイド掲載企業数	30社	32社	33社	○	企業ガイドに掲載されるメリットをより付加してい る。

基本目標 2 吉備中央町への人の流れをつくる

基本目標	指標	基準値 (R5)	現状値 (R6)	目標値 (R10)
	人口社会増減数	-173人 (R4)	-4人	-30人

施策名	重要業績評価指数（KPI）	基準値（R5）	現状値（R6）	目標値（R10）	基準値に対する現状値の評価 （目標値に達している場合は目標値に対する評価）	
						状況確認・要因分析等
吉備高原都市の整備促進	宅地分譲数	30件/年	78件/年	20件/年	◎	災害リスクの少なさや、低下価格帯が好評を得ている。数年後にも完売間近。
公共交通体制の整備・充実	1日あたりの公共交通利用者数	249人/日	145人/日	255人/日	×	基準値年に無料乗車券を配付したことにより現状値の利用者数が低減したように見えるが、年々利用者数は増加傾向にある。
キッズパーク等の充実	キッズパーク来場者数	20,228人/年	34,656人/年	32,000人/年	◎	開場以来、利用者数が20万人を突破した。岡山市、倉敷市、総社市内からの利用者が多い。
小さな拠点の整備	小さな拠点の整備	1か所	1か所	2か所	△	現状、新山地区のみだが、今後は閉校した小学校の跡地活用が見込まれる。
移住・定住の促進	お試し暮らし支援事業補助金交付世帯	26世帯/年	36世帯/年	30世帯/年	◎	田土地内と吉備高原北部住区内にお試し暮らし住宅を新たに整備した。
	民間団体の支援を受けた転入者	－	5組/年	5組/年	◎	移住サポートセンター「ここすも」が転入者支援を行っている。
空き家活用の推進	空き家バンクの年間登録数	22件/年	30件/年	27件/年	◎	年々増加する空き家の受入窓口となっている。
広域観光の充実	広域観光ルートの開発	10ルート	10ルート	15ルート	△	町観光協会が県内高校生と協働で観光プランを作成している。
地域資源を活用した体験コンテンツの充実による人の流れの創出	農業体験を含む団体旅行（教育旅行）の受入件数	2件/年	1件/年	15件/年	×	県外や国外からの団体が多い。食に対する視点を強化していく。
	農家民宿受入人数	340人/年	321人/年	600人/年	×	コロナ禍前の水準には達することはできなかったが、回復傾向が継続している。
	体験コンテンツの開発	－	0ルート/年	2ルート/年	△	農業体験、乗馬クラブ等の地域資源を活かした体験コンテンツの創出を検討している。
スポーツの推進	スポーツイベントの参加者数	518人/年	452人/年	1,000人/年	×	悪天候によりマラソン大会が中止になったことで参加者数が伸びなかった。
施設の利用手続きの円滑化						

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標	指標	基準値 (R5)	現状値 (R6)	目標値 (R10)
	合計特殊出生率	1.26 (R3)	1.11	1.89

施策名	重要業績評価指数 (KPI)	基準値 (R5)	現状値 (R6)	目標値 (R10)	基準値に対する現状値の評価 (目標値に達している場合は目標値に対する評価)	
					状況確認・要因分析等	
子どもの医療無料化	購入品への助成件数	35件/年	31件/年	50件/年	×	出生から1年以内に2万円を上限で助成している。年ごとの出生数に比例するためKPI設定の見直しを検討する。
子育て世帯応援金						
子育て家庭への精神的、身体的、経済的支援	ハイブリッド母子健康手帳登録数	66人	345人	300人	◎	目標値は達成できたが、利用者ニーズを満たせるよう改善を図っていく。
子育て支援情報発信	情報サイトアクセス数	1,020件/月	631件/月	2,000件/月	×	町公式ホームページ上に子育て情報を集約して掲載しているが、費用対効果を鑑み見直しを図る。
認定こども園業務におけるICT技術の導入						
高校生の通学支援						
ICT教育の推進	タブレット端末持ち帰りの取組 小学校 中学校	33.3% 100%	100% 100%	100% 100%	◎	目標値は達成できたが、日々の自宅学習に取り入れられるよう改善していく。
放課後学習の充実	入塾率	22.2%	20.5%	50%	×	塾スペースに限りがあるため、拠点を移すことも視野に検討している。
図書館の充実（電子図書館の導入）	図書貸出者数	12,050人/年	12,445人/年	13,000人/年	△	移動図書館の稼働により図書の貸し出し数が増加している。
出会いの場の提供と結婚までのサポート体制の強化	婚活イベントの町内参加者数	40人/年	31人/年	50人/年	×	公的支援として適合しているかといった視点も含めKPI設定の見直しを検討する。
	カップル成立数	12人/年	8人/年	12人/年	×	公的支援として適合しているかといった視点も含めKPI設定の見直しを検討する。

基本目標 4 魅力的な吉備中央町をつくる

基本目標	指標	基準値 (R5)	現状値 (R6)	目標値 (R10)
	吉備中央町に住み続けたいと思う人の割合	80.3% (R2)	－	85%以上

施策名	重要業績評価指数 (KPI)	基準値 (R5)	現状値 (R6)	目標値 (R10)	基準値に対する現状値の評価 (目標値に達している場合は目標値に対する評価)	
					状況確認・要因分析等	
地域医療の充実	入院対応できる内科の医療機関	2医療機関	2医療機関	2医療機関	◎	慢性的な看護師不足が生じているため、看護師確保の支援策を拡充している。
	遠隔診療の導入	－	導入	導入	◎	デジ田交付金事業により町内2箇所に導入した。今後は、受診科目の増加を図る。
医師等の確保対策	特定科目診療所	2か所	2か所	2か所	◎	人口減少下においては現状維持を目標として支援策を講じる。
魅力的な店舗の誘致	複合施設誘致店舗数	－	0店舗	1店舗	△	民間施設に頼るだけでは限界があるため、官民連携の協議体による連携策を講じていく。
買い物環境の充実	EC環境買い物支援出店者数	1店	17店	20店	○	デジ田交付金事業によりEC環境を構築した。出店者数・利用者数・買い物件数とも増加しているため、今後も利用者のニーズを掴んだ施策を展開する。
AI・IoTの活用の推進						
農産物の付加価値化の推進	農畜産物PRイベント出展	－	1回/年	1回/年	◎	岡山駅前や百貨店等の集客の多いところでPRすることにより、費用対効果の向上を図る。
魅力的な特産品づくり	特産品の開発	－	3品/年	15品以上/5年	○	ふるさと納税返礼品審査会に応募された商品を新規特産品として扱っている。
自然環境の保護・保全	SNSを活用した情報の発信	－	実施	実施	◎	ブッポウソウのPRを観光協会HPやインスタグラムにより発信している。
町の魅力づくりの調査、研究	ホームページのリニューアル	実施	実施	拡充	△	見やすさの改善を施して依頼、アクセシビリティへの対応も強化している。
多文化交流への取組	多文化交流会の参加者数	48人	110人	100人	◎	町内へ移住する外国人の比率も高まっているため参加者数も増加している。
モバイルメッセージアプリ等を活用した納税情報等の案内	LINEで納期限、口座振替のお知らせ等の案内	－	実施	実施	◎	SNSの普及に伴い町からの通知もSNSを活用する機会が増加している。
電子申請サービスの導入	電子申請サービスでの還付口座届出	－	未実施	実施	△	費用対効果を鑑み、導入に向けた議論を行っている。
	申請書作成時間の短縮	3分18秒	53秒	1分30秒	◎	書かない窓口端末を導入したことにより、大幅な時間短縮につながった。

施策名	重要業績評価指数（KPI）	基準値（R5）	現状値（R6）	目標値（R10）	基準値に対する現状値の評価 （目標値に達している場合は目標値に対する評価）	
						状況確認・要因分析等
協働のまちづくり推進	吉備中央町協働でひらく新たなまちづくり実践事業補助金を交付した団体数	2件/年	4件/年	3件/年	◎	地域づくり団体等の活動を支援している。
地域防災力の強化						
安全及び防犯対策の実施	防犯カメラの設置数	2か所/年	0か所/年	2か所/年	×	自治会からの申請に基づき補助金を交付しているためKPI設定の見直しを検討する。
救急体制の充実	緊急搬送補助システム利用者の満足度	3.7p	4.4p	4.8p	○	デジ田交付金事業により実装した高齢者利用施設職員向けのシステムを改修した。
視覚・聴覚補助等サービス事業	健診・ワクチン予約システムの利用者数	－	94人/年	300人/年	○	デジ田交付金事業により予約システムを実装。利用者・職員双方の使いやすさ改善を図る。
高齢者見守り事業	きびアプリを使用した相談数	－	4,343件	1,100件	◎	デジ田交付金事業により実装したサービス。当初の想定を上回る相談数が寄せられたため、更なる利用者満足度の向上を図る。
一元的窓口支援事業						